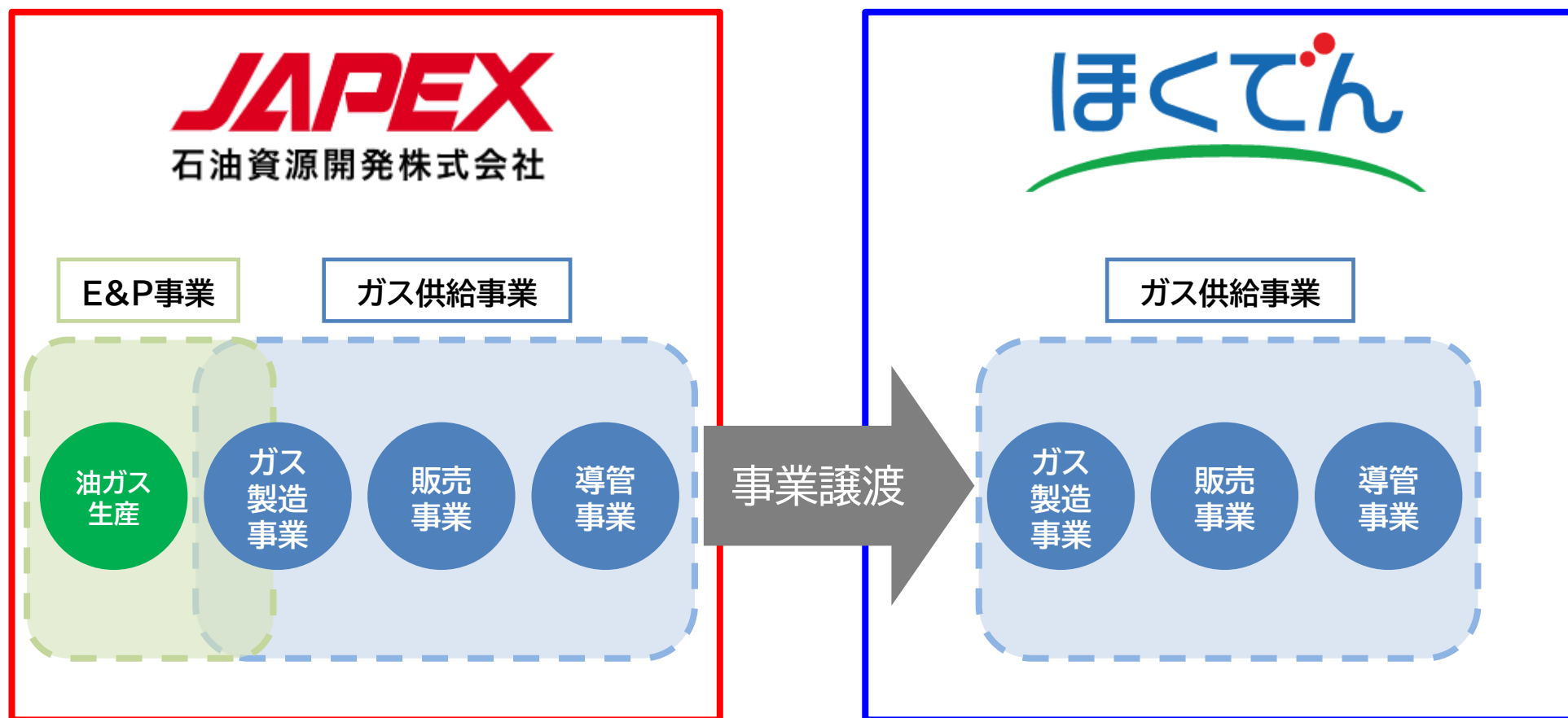

石油資源開発株式会社の ガス供給事業譲受について

2025年12月3日
北海道電力株式会社

ガス供給事業譲受の概要(イメージ)

- 現在、石油資源開発株式会社(JAPEX)は、北海道内において油ガス田(地下)から石油・天然ガスを生産するE&P(探鉱・開発・生産)事業と天然ガスを販売するガス供給事業を行っております。
- このうち、当社はJAPEXのガス供給事業に係る資産の譲受について、本日、契約締結いたしました。

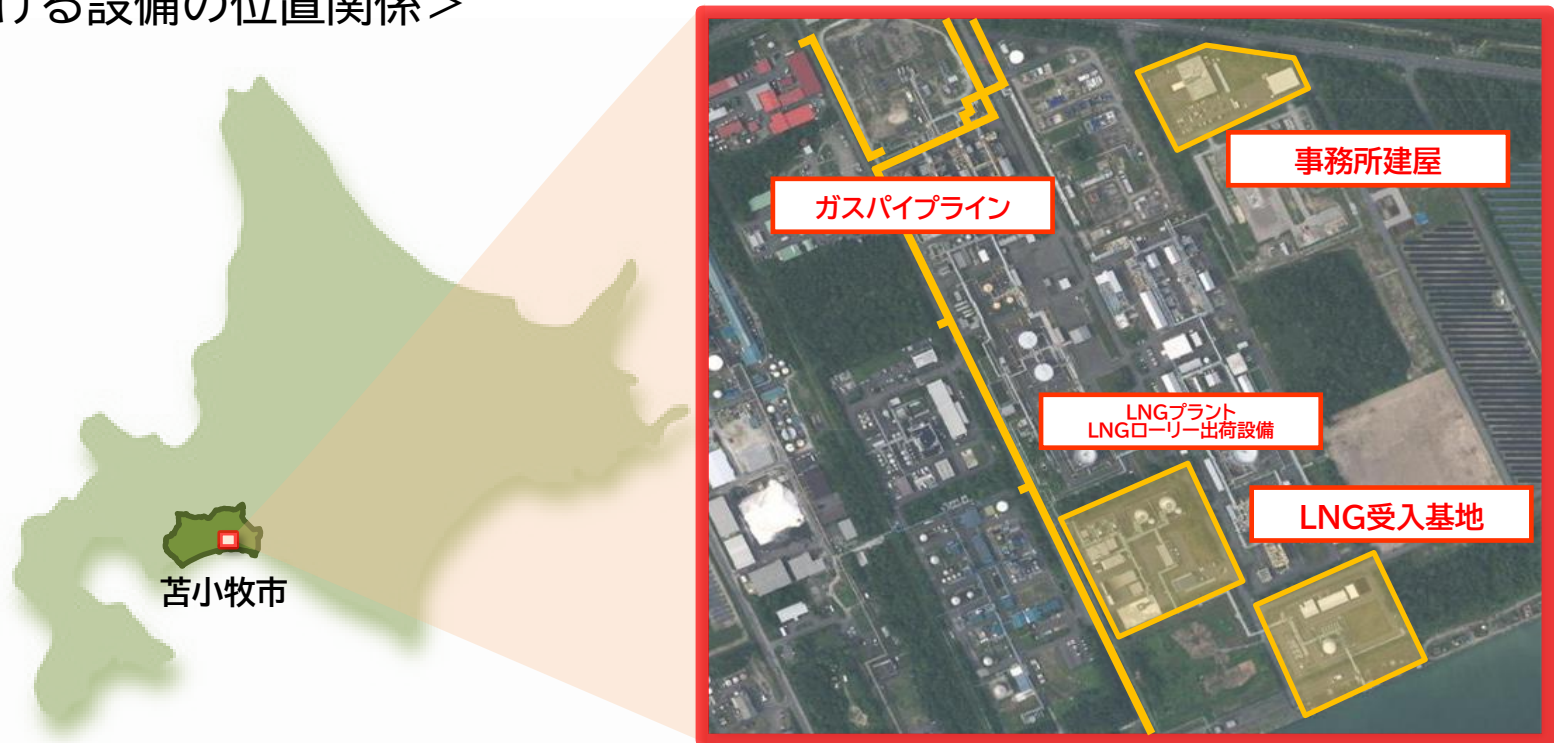


譲り受ける主な設備(全体像)

○ 今回の契約締結に伴い、JAPEXから下表の設備を譲り受けることとなります。

名 称	石油資源開発株式会社 勇払プラント
所 在 地	北海道苫小牧市勇払、沼ノ端
主な譲受対象設備	LNG受入基地、LNGプラント、ガスパイプライン、LNGローリー出荷設備、事務所建屋

<譲り受ける設備の位置関係>



【参考】譲り受ける主な設備(1)

勇払LNG受入基地

基本情報

名称	勇払LNG受入基地
操業開始	2011年11月

- 勇払LNG受入基地は、福島県相馬LNG基地からのLNG内航船を受け入れる二次基地

主要設備

LNG受入設備	内航船バース※(4,800m ³ 級)
LNG貯蔵設備	LNGタンク(2,700kL)×1基

※日本国内の港間でLNGを輸送する内航船(国内輸送船)が接岸(係留)するための専用の岸壁や棧橋



LNG内航船バース内のローディングアーム

勇払LNGプラント

基本情報

名称	勇払LNGプラント
操業開始	2003年10月

- 勇払油ガス田で生産した天然ガスと内航船で輸送したLNGを気化したガスを併せてガスパイプラインに送出
- 日本で唯一、天然ガスを液化する製造設備を設置

主要設備

LNG貯蔵設備	LNGタンク(3,000kL×1基、2,000kL×1基)
LNG製造設備	液化能力150t/d×1基



勇払プラント内のLNGタンク

出所:石油資源開発株式会社

【参考】譲り受ける主な設備(2)

ガスパイプライン(特定ガス導管)

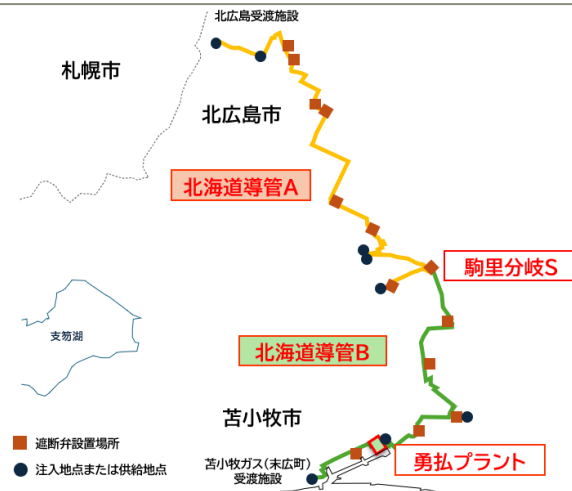
基本情報

名称	北海道導管A、北海道導管B
設置完了	1996年1月

- 総長94kmの高圧ガス導管ネットワーク

主要設備

北海道導管A	北海道北広島受渡施設から駒里分岐ステーションに接続する導管
北海道導管B	駒里分岐ステーションから勇払プラントまでの導管



北海道導管A、Bの導管施設イメージ図

LNGローリー出荷・受入設備

基本情報

名称	勇払LNGローリー出荷・受入設備
操業開始	2003年10月

主要設備

LNGローリー出荷設備	20t/h×5レーン
-------------	------------



勇払LNGプラント
LNGローリー出荷・受入設備とLNGタンク
出所: 石油資源開発株式会社

譲り受けるガス事業を活用した今後の取り組み

- 当社では、北海道から日本のエネルギー脱炭素化に貢献するとともに、事業成長の実現を目指しております。
- 今回、譲り受けるガス供給事業により、大規模需要等の産業集積化へ対応する供給力向上や石狩LNG基地との2拠点化によるレジリエンス強化に努めてまいります。
- また、周辺事業やプロジェクト等を組み合わせ、グリーン水素とCO₂を原料としたe-メタンによってガスのカーボンニュートラル化の実現にチャレンジしてまいります。

